



めざそう なりたい自分

こちら鹿児島市小野町 武岡台養護学校 進路指導情報局

令和3年度第2号

令和4年2月3日
鹿児島県立武岡台養護学校
進路指導係

高等部 「校内実習を経験して」

高等部では、前期(6月)と後期(9月)に卒業後の社会生活を見据えて、産業現場等における実習を実施しています。その中で1年生は、学校内を職場に見立てた「校内実習」を実施しています。校内実習の目標は、長時間の作業に集中的に取り組むことにより、生徒の働く意欲や態度を高めることや、卒業後の職業生活に向けて身だしなみ、言葉遣い等の基本的な生活習慣の確立に努めることなどを掲げています。また、校内実習では、2・3年生の校外実習先にお渡しするお礼の品の製作を委託していて、毎回実習先の方に好評です。心を込めて丁寧に製作することを通して、目標にある働く力を身に付けていくことを大切にしています。2回の校内実習を経験した1年生がどのような成長を遂げたのか、その様子について紹介します。



前期では、同じ班のメンバーで日々作業に取り組むことで、仲が深まっていくな一方、作業中に私語が増えるなどけじめのない雰囲気になったことがありました。また、昼休憩に動き過ぎたことで、午後の作業時に汗が止まらなくなり、作業効率等に影響を与えることもありました。後期では、この反省を活かすために、自分の仕事に責任をもって取り組むことをそれぞれが意識できたことで、仕事に取り組むときの真剣な表情や、時間を守る行動など、少しずつ働く態度に変化が出てきました。

さらに、「挨拶や返事の声が相手に伝わる大きさになってきた」、「休み時間と仕事の時間の区別ができるようになった」、「仕上がりの状態を自分で確認するようになった」といった様子も見ることができました。

また、前期と作業内容は変えずに、作業場所と担当職員を変更して後期は取り組んだ班もありました。作業環境が変わり、集中力等に影響があるのかなと思っていましたが、きちんと決められた時間や作業が終わるまで集中して取り組み、メリハリをつけることができました。

このように、普段の家庭生活や学校生活で学びを積み重ね、一步步成長しているように感じます。今後も生徒達の成長が楽しみです。

(高等部 山口)



高等部校外実習先(今年度前後期実習の一部です)※原則10日間

実習先	サービス等	勤務時間	作業・活動内容
カクイックス	企業	9:00~16:30	タオル畳み、制服のポケット検査、パジャマ洗濯等
トライアル東開店	企業	9:30~15:00	商品の品出し、前出し、棚卸し(その日毎に内容変更)
エルビレッジ	就労継続支援A型	9:30~14:30	青果物の袋詰め、にんにくの皮むき、小物作り、その他
時之栖(ときのすみか)	就労継続支援A型	9:00~16:00	家族湯、大浴場の清掃、消毒
ウェルビー鹿児島中央センター	就労移行支援	10:00~15:30	PC訓練、ディスカッション、ウォーキング、ビジネスマナー等
就労サポートセンターラシーネ	就労移行支援	9:30~14:30	パソコン入力、ピッキング、ブラグタップ、物品請求、グループワーク等
ビッグハート	就労継続支援B型	9:30~15:10	チラシ入れ、野菜の袋詰めなど
みらいず	就労継続支援B型	9:00~16:00	調理、調理補助、接客
育成センターコスモス	生活介護	9:40~15:40	生産活動(ミシン、裂き織り、苗植え等)、クラブ活動、音楽、体力づくり
第二ときわの家	生活介護	9:30~15:30	課題作業(本人が集中して取り組める作業)、歩行

小学部

「6年生の進路学習」

小学部では中学部・高等部での作業学習や職場実習、卒業後の生活等も視野に入れながら、食事や排せつ、衣類の着脱、片付けなど、生活の中の自分でできることを増やしたり、自分の思いを伝え相手の思いを受け入れたりすることなど、主に日常生活での活動を大切に行っています。好きなことや得意なことを伸ばし、集中して活動に取り組めるよう、身体の動きや手先を使う学習、文字や数の学習、制作活動など一人一人に合った課題を設定した学習をしています。

中学部への進学を控えた6年生児童は、中学部の作業学習体験を行いました。作業学習では陶器や手芸品を製作し販売学習を行うことから、6年生も生活単元学習の中で模擬販売学習に取り組みました。また、高等部の先輩方が取り組む特別支援学校技能検定の小学部版「おそうじ検定」に挑戦しています。中高等部の先輩方ががんばるカッコいい姿をイメージしながら、学習に取り組む様子はとても頼もしく、小中高一貫のキャリア教育の良さを感じることができます。

このような学習をとおして、児童一人一人のできることを着実に増やしていけるよう、日々の学校生活の中で日常の基本的なことからスモールステップで成功経験を積み重ねています。

連絡帳やミーティング、学級便りなどで、日常的な進路学習の様子をお伝えしていきますので、一緒に成長を支えていきましょう。(小学部 内門)

☆6年生 模擬販売学習(お店屋さん)



☆6年生 「おそうじ検定練習」



【資料】小学校（小学部）における進路指導で大切にしたいこと

「身辺処理や人間関係など、この時期の生活を自立的に行えるようにすること」と捉えて、丁寧に日々の取組（経験）を積み重ねましょう。

○ 日々の学習で・・・

- ・ 学校生活に慣れて、見通しを持って生活できるようにしましょう。
- ・ 挨拶や返事を（自分から）できるようにしましょう。
- ・ 身辺処理能力を高めるようにしましょう。
- ・ 友達となかよく遊べるようにしましょう。
- ・ 日常生活の中の決まりを守れるようにしましょう。
- ・ 遊びや学習を楽しみ、進んで活動に取り組む（参加する）ようにしましょう。
- ・ 係や手伝いなどに積極的に取り組みましょう。



○ 保護者は・・・

- ・ 日々の学習や生活のすべてが進路につながるという意識をもちましょう。
- ・ 規則正しいリズムで毎日の生活が送れるようにする。
- ・ 早い段階から、福祉サービス事業所等の見学や進路に関する学習会への参加をしましょう。
- ・ 担任、相談支援専門員などの支援機関、保護者同士でたくさん情報交換をしましょう。

中学部

「中学部卒業後の進学を見据えて」

中学部3年生では、進路学習の一環として、1学期に障害者支援施設「旭福祉センター」の施設見学や高等部の作業学習の見学を行いました。2学期は実際に高等部の作業学習を体験しています。

1学期の作業学習の見学では、各班の作業の様子や実際に制作した物を見たり触ったりすることで、「こんな製品も作るんだ」「すごく上手！」「やってみたい」など、中学部とは違った雰囲気・製品の種類の多さに驚く姿が多く見られました。

2学期の作業体験では、それぞれやってみたい作業班の希望を出し、目標を立ててから臨みました。初めての場所、慣れない作業内容に緊張する生徒もいましたが、高等部の先生や先輩方が温かく迎えてくれ、一人一人がとても充実した時間を過ごすことができたように思います。中には、「高等部に行ったらまた〇〇班で作業したい」「今度、小学部6年生が体験に来たら、先輩たちみたいに優しく教えてあげよう」と、今回の体験を通して、作業学習の楽しさや作業に向かう姿勢、お互いに協力し合うことなど、多くのことを学ぶ良い機会となりました。高等部のことを知ることで、中学部卒業後の進路について少しでもイメージをもったり、関心を高めたりすることができたように思います。(中学部 母ヶ野)

高等部作業学習体験



先輩たち、やさしい～(^^)

【資料】中学校（中学部）における進路指導で大切にしたいこと

「学習や経験の広がりや深まり」を大切に、自分で考え行動できる生徒に育てましょう。

○ 日々の学習で・・・

- ・ 場面に合わせて挨拶や返事を自分からできるようにしましょう。
- ・ 時間を意識して行動できるようにしましょう。
- ・ 公共の施設や乗り物を利用できるようにしましょう。
- ・ 作業学習や総合的な学習の時間を通して、働く力（体力、意欲、持続力等を）養いましょう。
- ・ 高校や特別支援学校高等部、事業所（職場）などの見学や体験を通して、進路について意識を育てましょう。



○ 保護者は・・・

- ・ 生徒の生活年齢相応に接し、自分でできることが増えるように援助しましょう。
- ・ 進路希望調査や教育相談（ミーティング）などを通して、進路の進め方や方向性を考えましょう。
- ・ 高校や特別支援学校高等部の見学を本人と一緒にしたり、進路に関する学習会などに積極的に参加したりしましょう。
- ・ 担任、相談支援専門員などの支援機関、保護者同士でたくさん情報交換をしましょう。

PTA 「施設見学～まずは見学してみよう！～」

7月27日にPTA 進路研修部主催の「進路に関する研修会」が行われました。今回の内容は、中学部・高等部の在校生保護者3人の方の体験談発表でした。子育ての様子や悩みながらいろいろな取組をしてきた経過を具体的なエピソードを交えてご紹介いただき、参加された保護者の皆さんから「とてもためになった」「もっとききたい」と大好評でした。今回はその中から高等部2年加治さん(PTA 会長)がお話してくださった施設見学の取り組み方をご紹介します。

子どもの将来の進路について

- ・施設見学が大事と聞くけどどうしたらいいのかわからない。
- ・施設にアポを取ったりハードルが高い。
- ・A型B型…用語が難しくて取っつきにくい。
- ・まだ先のことから考えられない、想像つかない・・・。



まずは見学してみよう！

《提案その1》福祉サービス事業所が運営するお店に行ってみる。

KokettCafe(コケットカフェ) 株式会社スミルズ・ワークスペースコケット (就労継続支援A型)
北欧をテーマにした空間となっており、おしゃれな店内で北欧料理を楽しむことができる。



北欧プレートランチ ¥1550

場所：鹿児島市東千石町（おつきやビル2F）

Open：火～日、祝 11:00～16:00

高等部生が職場実習をしている様子
も見ることができました！



まずは見学してみよう！

《提案その2》家の近くの事業所を訪ねてみる。

キッチンおひとつや ※株式会社インビクト・ワークサポートひとつ

体に優しい塩分控えめランチをご提案、シフォンケーキやフレッシュ生ジュースもあります。



日替わり減塩ランチ
¥550

鹿児島市下荒田一丁目（ハローワーク近く）

Open：月～金 11:00～14:30



見学を重ねることで・・・

○福祉サービスの違いがわかってくる

○各事業所の違いが見えてくる

○将来の目標ができてくる・・・ような気がします



☆歴代先輩からの教え①☆ 見学する際のポイント（視点）

- ・施設の雰囲気はどうか？
- ・行事はどのようなものがあるか？行事の頻度は？
- ・職員の専門性は充実しているか？また職員の異動や退職は？
- ・一日のタイムスケジュールは？
- ・給食の有無、値段は？
- ・送迎の有無は？

子どもが、楽しみややりがいをもって生活できそうか？

☆歴代先輩からの教え②☆ 例えば学年単位で見学を計画する流れ

- 1 行きたい事業所を決める。（こんなところというイメージでも可）
 - 2 （希望）日時を決める。（複数案あると調整しやすい）
 - 3 進路の先生に連絡（相談）する。
 - 4 学年の保護者に連絡し、人数等を確定して、行く手段や集合場所を決める。
- 見学へGO！！

○実際に、加治さんの学年（中学部）で行った見学例

例1 仕事をする（訓練をする）事業所中心

10:00～10:50 ワークステージつばさ（唐湊）

11:00～11:50 ラシーネ（郡元）

12:00～13:00 のび食堂（紫原）

13:10～13:40 みつばちベーカリー（紫原）

例2 健康に楽しく過ごす事業所中心

10:50～11:50 誠光園・きらら（犬迫）

12:00～13:45 セルプいしき（伊敷台）

14:00～15:00 地域生活支援拠点ゆうかり
（草牟田）

《まとめ》

○ 進路のことで分からないことや不安なことは、担任の先生や進路の先生に聞こう！

○ 悩みを共有できる仲間をつくろう！！



令和3年度特別支援学校技能検定が行われました！

本校高等部から、清掃部門26人、喫茶サービス部門8人の生徒が受検しました。（過去最大）
審査員や参観者、他の生徒が見守る中、緊張しながらも真摯に取り組む姿はとても頼もしく、今回の成果を日頃の生活や将来の職業生活に活かしてくれるものと期待しています。

コース 部門	清掃部門	喫茶サービス 部門
プロフェッショナル コース（1～3級）	1級 1人 2級 2人	受検者なし
チャレンジコース （4～6級）	4級 3人 5級 2人	4級 7人
ビギナーコース （7級～10級）	7級 15人 8級 3人	8級 1人



お客様にお水（お冷や）
を提供します

机を隅々まで隙間無く
二度拭きします。



